

令和4年度第1回川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会 グループディスカッションの実施について

1 目的とねらい

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、14名の委員による運営委員会を立ち上げ、地域包括ケアシステムの第2段階の展開に向けて、取組を推進しています。

この連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として地域でご活躍いただくことを目指しています。



2 実施にあたって

(1) ディスカッションテーマに対する「考え方・視点」や「意見」の集約を行います

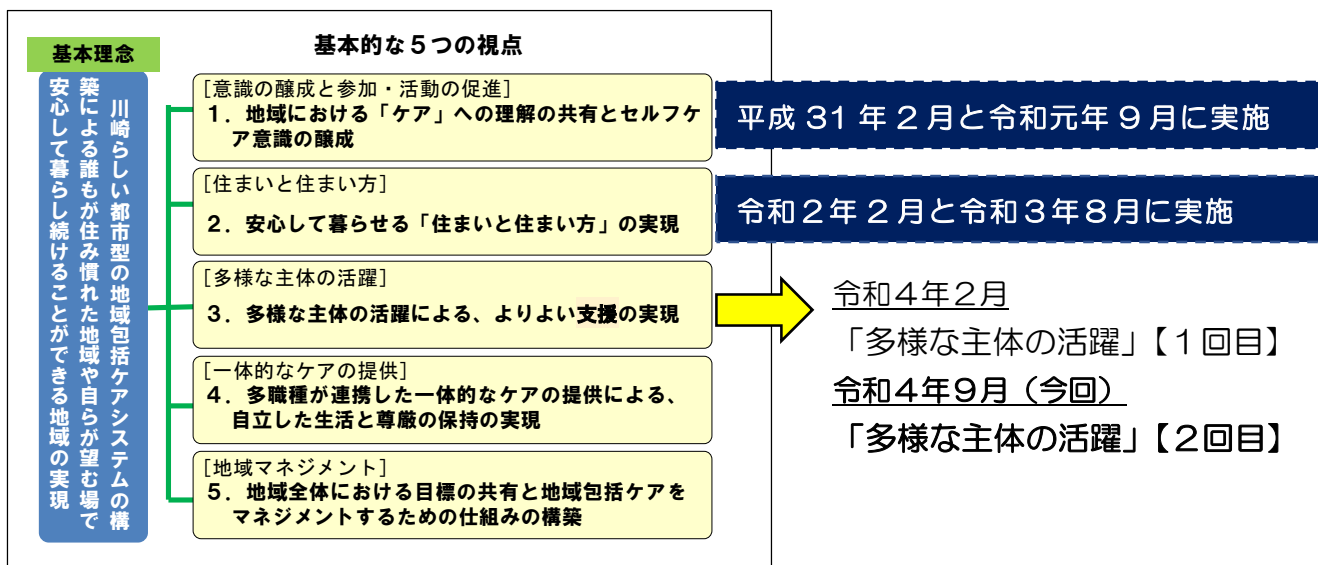
自らが地域包括ケアシステムの担い手として、「考え方・視点」や「意見」を出し合います。

(2) 参加者による「全員参加型」で行います

事業者、企業、大学、住民団体、住民など、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話し合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合います。

3 連絡協議会のテーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を基に設定しています。



4 実施方法

(1) 大テーマ

「多様な主体の活躍による、よりよい支援を実現するには」

(今回話し合うテーマ)

「企業・団体が支援を必要とする人とつながるには」

(参考) ニーズを捉えるには? 企業・団体、市民のそれぞれで障壁となっていることは?

前回テーマ: 企業・団体等のサービスを市民に広く利用してもらうために必要なこと

※「多様な主体」とは

行政をはじめ、事業者や町内会・自治会などの地縁組織、地域・ボランティア団体、住民など、地域における様々な担い手のことを指します。

(2) 実施手法

運営委員の方を中心にファシリテーターになっていただき、話し合いを進めます。

- ①グループ内で、一人1~2つずつ、テーマに関する意見やアイデアを順番に発表してください。発表の際は、その内容や挙げた理由等、必要に応じて項目を補足する説明もお願いします。
- ②発表した内容は、1項目ずつ付箋に簡潔に記入し(オンライングループは書記が記録し)グループで共有します。「〇〇を××すること」等、項目出しは簡潔にお願いします。
- ③出された意見のうち内容が近いものをまとめ、タイトルを付けてください。
- ④その中で一番重要だと思うタイトルを話し合いで決めてください。
- ⑤全体への報告・発表は、オンライングループはファシリテーターの方が、会場グループはその場で決めた発表者が行います。

各グループの発表後、事務局で全体の意見をまとめ、座長の埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授の田中先生から全体講評をいただきます。

(3) グループニング

1グループ7~9名程度のグループを作ります。

テーマの内容を踏まえ、各グループは、顧客等の事業対象者層が同じ、又は一部重なるような企業・団体が構成しています。

(4) ファシリテーター・補佐・書記

各グループにファシリテーターを配置するとともに、補佐役として行政職員が同席します。また、オンライングループに書記として委託事業者のスタッフを配置します。

(5) タイムテーブル

3頁のとおり

(6) まとめ方

各グループの意見、講評コメントは、後日報告書としてまとめます。

グループディスカッションに参加した感想や話さきれなかった意見等がありましたら、アンケートに記入してください。

<タイムテーブル>

時間		内容
18:00~		市長挨拶
18:05~ 18:15	10分	川崎市における地域包括ケアシステムの取組状況 「川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組」 (説明者) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 久々津 裕敏
18:15~ 18:35	20分	川崎市市内での活動報告-1 (発表者) 川崎市介護支援専門員連絡会 出口会長 川崎市市内での活動報告-2 (発表者) 川崎市助産師会 又木副会長
18:35~ 18:40	5分	グループディスカッション全体の流れの説明 全体の流れ、グループディスカッションのルールについて説明 (説明者・進行役) 川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室担当課長 久々津 裕敏
18:40~ 18:50	10分	自己紹介 (アイスブレイク) 一人1分以内で自己紹介をしてください。 ※テーマ「最後の晩餐として食べたいもの」
18:50~ 18:55	5分	個人ワーク 「企業・団体が支援を必要とする人とつながるには」について、一人1~2つを目安に、意見やアイデアをまとめてください。
18:55~ 19:35	40分	グループディスカッション
19:35~ 19:55	20分	報告 1グループ2分を目途に、各グループから重要だと思うタイトルとその理由を報告してください。
19:55~ 20:00	5分	全体講評 埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授の田中滋先生から講評をいただきます。
		閉会・副市長挨拶